

平成 30 年度 第 1 回あま市子ども・子育て会議 会議録

開 催 日 時	平成 30 年 12 月 13 日 (木)
開 催 場 所	あま市役所 甚目寺庁舎 2 階 第 1 会議室
議 題	子ども・子育て支援事業計画策定に係るアンケート調査について
公開・非公開の別	公開
傍 聴 人 の 数	0 人
出 席 委 員	井村なを子、服部章平、大橋円昭、川原史子、渡邊泰江、吉田龍宏、木全孝、長澤弘宣、堀江徹二郎、吉鶴弥生、堀部佳代子、加藤伸也、松永裕一、石川文代
欠 席 委 員	前田康男、増田淳士
事 務 局	子育て支援課 樋口課長、平野主幹、林補佐

会 長	<p>本日は、ご多忙のところ、あま市子ども・子育て会議にご出席いただき、ありがとうございます。</p> <p>只今より、始めさせていただきます。</p> <p>それでは事務局、よろしくお願いいたします。</p>
事務局	<p>(課長あいさつ)</p> <p>今回の会議は、あま市審議会等の会議の公開に関する要綱第 3 条に基づき、公開にて実施いたします。また、同要綱第 7 条に基づき、本会議終了後、会議録を作成いたしますので、録音させていただきます。市のホームページに会議録を掲載することになっておりますので、ご承知おきください。</p> <p>本日は、前田康男委員、増田淳士委員は都合によりご欠席との連絡がありました。</p> <p>次に、交代がありました委員をご紹介します。校長会長の木全孝様、小中学校 PTA 連絡協議会長の増田淳士様、幼稚園保護者代表の堀部佳代子様、商工会青年部長の加藤伸也様、福祉部長の松永裕一様、公立保育園代表の石川文代様、以上です。</p> <p>会長、よろしくお願いいたします。</p>
会 長	<p>それでは、議題「子ども・子育て支援事業計画策定に係るアンケート調査について」、事務局より説明をお願いいたします。</p>
事務局	<p>(担当者より資料の説明)</p>
会 長	<p>何か、ご意見やご質問はありますか。</p>
吉田委員	<p>表紙裏面の「用語の定義」は、法律に基づく表現に修正する必要があると思います。また、文末がそろっていないので調整してください。小規模保育事業の説明も加えてほしいと思います。</p>
吉田委員	<p>P1 の問 6 の質問文には、“家庭において” というような言葉を追加した方がいいと思います。</p>
吉田委員	<p>P2 の問 7 の選択肢の「5. いずれもない」に該当する方がどのような状態なのかを聞かないのは何故ですか。</p> <p>また、問 7-1、7-2 の選択肢は、「安心して子どもをみてもらえる」ことや「心配である」ことなど、いろいろと聞きすぎなので、選択肢の整理が必要ではないかと思います。</p>

吉田委員	<p>P3 の問 8－1 の選択肢「2 友人や知人」と「3 近所の人」の違いは何ですか。また、選択肢 4 では、子育て支援施設と NPO を一緒にしていますが、何故ですか。また、選択肢「6 保育士・保育教諭」と「7 幼稚園教諭」が別々になっているのは何故ですか。</p> <p>子育てコンシェルジュが選択肢にありません。</p> <p>選択肢「10 自治体の子育て関連担当窓口」は、市民には分かりにくいのではないのでしょうか。</p> <p>問 9 の自由回答は、最終ページにまとめ、ここでは削除してもいいのではないのでしょうか。</p>
吉田委員	<p>P4 の問 10－1 の選択肢 2、3 に「フルタイムへの転換希望」とありますが、「転換」という言葉は分かりにくいのではないのでしょうか。</p> <p>また、問 10－2 の選択肢 1 に（就労の予定はない）とありますが、決まっていなくても就労したい人はいると思うので、（就労の希望はない）としたらどうでしょうか。</p> <p>P5 も同様です。</p>
吉田委員	<p>P6 の問 11 で「定期的な教育・保育の事業」を利用している人には、市内の施設だけでいいので、どの施設を利用しているのかを聞いてほしい。</p> <p>また、問 11－1 では、定期的に一時保育を利用しているという現状を把握しなくてもいいのでしょうか。</p>
吉田委員	<p>P7 の問 11－5 は、適切な表現で記載してほしいと思います。選択肢 1 に（子どもの教育や発達のため、子どもの母親か父親が就労していないなどの理由で）との説明がありますが、保育園や幼稚園が“子どもの教育や発達”に必要なという意味にも捉えられてしまいます。</p>
吉田委員	<p>P8 の問 12 は、問 11－1 と同様、定期的に一時保育を利用したいニーズを把握しなくてもいいのでしょうか。</p> <p>また、問 12－2 を聞く意図は何でしょうか。</p> <p>問 13 は、問 15 の内容と一部重複するので、削除してもいいのではないのでしょうか。</p>
吉田委員	<p>P9 の問 15 の事業名のうち、④は「ちびっこあつまれ事業」ではないのでしょうか。</p>
吉田委員	<p>P10 の問 16－1 と 17－1 の選択肢に、「息抜きのため」というものがありますが、保育園も幼稚園も親の息抜きのために子どもを預かることを想定していません。この選択肢を削除してほしいと思います。</p>
吉田委員	<p>P13 の問 20－1 では、問 20 の選択肢「1 利用したい」と答えた方が希望する事業形態を聞いていますが、そこには私用やリフレッシュ目的などが含まれています。幼稚園や保育園は、私用のために子どもを預かる施設ではないので、検討してほしいと思います。</p> <p>また、問 21－1 でたずねている「困難度」とは、どのような概念でしょうか。</p>
吉田委員	<p>P15 の問 25 以降の、放課後児童クラブの利用意向をお聞きする部分が「お子さんが 5 歳以上の方のみ」となっていますが、将来的なニーズを把握する意味からも、全年齢のお子さんの保護者にお聞きするべきではないのでしょうか。</p>
吉田委員	<p>P17 の問 29 と問 30 は、順序を入れ替えた方がいいのではないのでしょうか。</p>
吉田委員	<p>P18 の問 31 では、無償化の条件をしっかりと説明しないと誤解をうむ可能性があると思います。また、問 32 の質問文中に（副食費）とありますが、これは削除してほしいと思います。</p> <p>問 33 では、時間帯まで聞いていますが、それは何故ですか。</p>

長澤委員	<p>全ての指摘事項に対し、すぐに答えられるとは思いませんので、ご検討いただいてあらためてお知らせいただければいいと思います。</p> <p>関係者にお聞きしたところ、国は、市町村で進めてくれてよいとのことなので、あま市独自のアンケートに変えていくことが大事だと思います。</p> <p>課題は、放課後児童支援。支援員の配置などをどう具体化するかが大きな課題だと思います。今の課題を、皆さんからもお聞きしたいと思います。</p>
加藤委員	<p>このように、アンケートの調査項目を細かく詰めていくことをこの会議で行うのは時間をもったいないと思います。誰のためのアンケートなのかよく分かりません。もっと、あま市が行っている事業や施策をPRしたら良いと思います。事前にもっと詰めておいていただけるとありがたいです。</p>
事務局	<p>事前の調整が不十分で申し訳ありません。今行っている事業を中心に、潜在的なニーズをお聞きし、次期計画に活かしていきたいと思います。</p> <p>一旦お聞きして、検討した上で、あらためてご覧いただく形とさせていただければと思います。</p>
吉田委員	<p>もしよろしければ、P15 の問 25、5 歳以上に限定している部分を全年齢にお聞きした方がよいのではないかとこの点については、ご議論いただければと思います。</p>
事務局	<p>その点は事務局でも検討しましたが、0 歳児の保護者様に、将来、放課後児童クラブを使いたいと言っても現実的に答えられないのではないかと考えています。</p>
長澤委員	<p>アンケートには保護者の方が回答するので、今日参加されている保護者のお立場の方のご意見を聞きしたらどうでしょうか。</p>
堀部委員	<p>今の説明があったから、このアンケートを最初に読んだ時よりも分かったという状況はありますが、初めて手にした状態では難しい部分があると思います。</p>
川原委員	<p>個人的な意見ですが、P1 のご家族の状況が、これだけの質問では見えてこないのではないのでしょうか。一緒に住んでいるのは誰なのか？ 最初から配偶者がいないのか、途中からいなくなったのかなどは分かりません。</p> <p>P6 の利用している事業のうち、ファミリーサポートセンターの説明がありますが、実際には送迎の依頼が多いので、「お子さんの送迎」ということを説明に記載してほしいと思います。</p> <p>先ほど、「息抜きのため」を削除してほしいとの提案がありましたが、あくまでニーズということで聞いていただきたいと思います。</p>
吉田委員	<p>息抜きを否定しているということではなく、通常の定期的な事業を使う理由が息抜きというのは違うということで提案しました。</p>
川原委員	<p>何のための事業かという話とニーズとは違う話だと思います。他の部分でもいいので、息抜きという目的はどこかで尊重してほしいと思います。</p>
事務局	<p>たくさんのご意見をいただきましたので、検討して、後日皆さんにご確認いただくようにしたいと思います。</p> <p>小学生児童用の調査票についても、ご意見がありましたらお願いいたします。</p>
堀江委員	<p>小学生の調査票の P3、気楽に相談できる人に「学校の先生」が入っていません。実際には、学校への相談が多いと思いますが、何故でしょうか。</p>
堀江委員	<p>全体的に、聞きたい意図に即して答えやすいようにしていただきたいと思います。選択肢の文章で、2 行は長いと思いますから、短く表現してほしいと思います。聞きたいことを絞って、同じ言葉が並ばないようにしてほしいと思います。</p>
川原委員	<p>回答結果による誘導がすべて縦方向なので、可能であればレイアウトを工夫して左右に誘導する等の工夫ができないでしょうか。</p>

渡邊委員	<p>発送は、個人の家宛てでしょうか。最近は、詐欺的な DM もあるので、お問い合わせ先などに QR コードがあって、そこにアクセスするとアンケート実施の案内があると安心できるのではないかと思います。</p>
加藤委員	<p>前回の回収率は、どのくらいでしたか。</p>
事務局	<p>約 50%でした。</p>
川原委員	<p>この大変なアンケートに答えられる方の 1,000 件という統計だと思うので、そういう認識は必要だと思います。</p>
加藤委員	<p>本当は、アンケートに答えない方の意見をお聞きする努力が必要だと思いますので、今後検討してください。</p>
会 長	<p>ありがとうございました。</p> <p>では、これまで出していただきましたご意見を踏まえて、事務局で検討していただきたいと思います。</p>